

児童発達支援職員自己評価結果表

公表： 2020年 2月 25日

事業所名:子ども・子育てサポートセンターまなび舎

R1年度	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制	① 利用定員は支援スペース（療育ホール）に対して適正であるか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	② 一日の職員配置数は、法令で定められている定員を満たしているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
業務改善	④ 業務改善を進めるための目標設定と振り返りを、職員と共に考えているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・定期的に会議の機会を持てるといと思う。 ・最近は一週に一度アセスメントを行い、その場で付加的に話し合いが来ている。	・毎週行う定例会議に加え、議事録を出席できない職員にも明確に伝える工夫を考える。
	⑤ 保護者アンケートを実施して、保護者の意見を業務の改善に活かしているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	⑥ この自己評価の結果を、事務所の掲示板やホームページで公開しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
適切な支援の提供	⑦ 職員の資質向上のための研修の機会を確保しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・技能や制度に関するだけでなく、療育の内容や子どもについての研修が必要だと思う。 ・研修会の参加等を行っている。	・療育のあり方や、子どもとの関わり方に関する研修を増やし、教材のレクチャーなども行う。
	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題をもとに、児童発達支援計画を作成しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・職員が、支援計画に目を通す習慣が無いので判断できかねる。 ・週一会議の際に、児発官から説明があると良い。 ・常勤職員中心に意見交換会を開いている。	・担当児の支援計画に目を通す仕組みを考える。 ・新たな支援計画が作成された際は、定例会議にて情報を共有する。
	⑨ 子どもの適応行動の状況を知るために、アセスメントツールを使用しているか	1 (8%)	1 (8%)	10 (83%)	・現在作成中と聞いている。 ・令和二年度より実施する予定。	・令和二年度より実施予定。
	⑩ 児童発達支援計画には、『児童発達支援ガイドライン』の内容から適切な項目が選択され、具体的な支援内容が設定されているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	⑪ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10 (83%)	2 (17%)	0 (0%)	・支援計画を共有すべきだと思う。 ・各職員の見立てに任されているように感じる。 ・児発官から沿った支援になるよう指示がある。	・⑧と同様に情報共有の仕組みを整える。
	⑫ 療育プログラムを他の職員に相談しながら考えているか	11 (92%)	1 (8%)	0 (0%)	・主だった担当職員に助言を求めている。 ・周囲の職員と相談して行っている。 ・絵本・パネル・手遊びなど季節や年齢に合ったものを教えている。	
	⑬ 療育プログラムが同じにならないよう工夫しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・毎回記録ファイルを見返している。 ・教材に工夫の実施。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動をそのつど組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11 (92%)	0 (0%)	1 (8%)	・余裕の有無で分かれる。	・余裕を持った療育のスケジュールを組むと共に、職員の充実を図る。
	⑯ 支援終了後や空きの時間に職員間で打ち合わせをし、その日や週に行われた支援の振り返りを行って、気付いた点等を共有しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・昼休みや空き時間で職人同士が気になったことを共有しているが、あくまで公式なものではないので、療育に活かさないこともある。 ・職員間（パートも含めた）研修の機会が、もう少しあると望ましい。 ・新しい教材の説明を行ってほしい。 ・気になったことはその日のうちに解決している。	・重要性の高い案件は、研修や定例会議に落とし込めるよう画策する。 ・教材のレクチャーは個別で聞ける環境を確保する。
⑰ 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援内容の改善につなげているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・記事録をとり、ファイル裏に書き記している。 ・次年度からスタッフ全員で対応する。	・療育記録も定例会議での重要資料として活用する。	
⑱ 定期的なモニタリングによって、児童発達支援計画の見直しを行っているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)			
関係機関や保護者との連携	⑲ 障害者相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況をよく理解した者が参加しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	⑳ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携を取り合っているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	㉑ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等との連絡体制を整えているか	0 (0%)	2 (17%)	10 (83%)	・ケアの必要性如何に関わらず、子どものバックグラウンドを知っておく必要があると思う。	・アセスメントツールを通じて周知を図る。
	㉒ 保育所など（認定こども園、幼稚園、特別支援学校幼稚部）との間で、進級に向けた連携をとっているか	10 (83%)	2 (17%)	0 (0%)	・入所（園）時の支援会議や小学校入学時に顔を合わせている。 ・新規入園児に対応している。 ・職員が分担して必要に応じて園などを訪ねる。	
	㉓ 小学校など（特別支援学校小学部）との間で、進学に向けた連携をとっているか	11 (92%)	1 (8%)	0 (0%)	・入学前の引継ぎ会議の要望があれば行う。	
	㉔ 他の支援事業所、療育センター等の専門機関と協力し、助言や研修を受けているか	11 (92%)	1 (8%)	0 (0%)	・年に数回研修がある程度。	
	㉕ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	11 (92%)	1 (8%)	0 (0%)	・年三回の実施に参加している。	
	㉖ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について確認しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・毎回様子を伝えるようにしている。	
㉗ 保護者が子どもとの良い関係を築くために、保護者に対しその子との適切な関わり方の支援を行っているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)			
保護者等への説明責任等	㉘ 運営規定、療育の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・児発官が行っている。 ・新規利用時に対応している。	
	㉙ 児童発達支援ガイドラインに基づいて作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	㉚ 保護者や家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	㉛ 保護者同士の交流を支援しているか	7 (58%)	5 (42%)	0 (0%)	・相談室の開放を行っている。 ・待合室で自然とお話されている。 ・意図的な交流については現在行っていないが、相談室で交流の場を提供している。	・保護者同士の交流は個人の意思を尊重する形を取り、特別な斡旋をする予定はない。 ・必要などの意見が多数保護者から出た場合は、特別交流の場を設ける事も視野に入れる。
	㉜ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、保護者等に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・苦情解決担当の職員中心に対応している。 ・丁寧に説明し、対応している。	
	㉝ 事業所内の掲示板にお知らせ（避難訓練・感染症対策等）を掲載し、子どもや保護者に対して発信しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・その都度掲載している。	
	㉞ 個人情報にしっかり注意しているか	10 (83%)	2 (17%)	0 (0%)	・モニタリングを行っている声が廊下に漏れている時がある。	・相談時など周囲に配慮する。
	㉟ 気持ちを伝えるのが難しい子どもと、保護者との意思疎通のための配慮をしているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
非常時等の対応	㊱ 緊急時対応／防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを作成し、職員や保護者の目の届くところに配置しているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・事業所廊下に配置してある。	
	㊲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	・年二回の実施、次回は三月実施予定。	
	㊳ 事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	9 (75%)	2 (17%)	1 (8%)	・てんかん発作は伝わっているが、予防接種は把握していない。	・アセスメントツールを通じて周知を図る。
	㊴ 虐待を防止するための職員研修を行っているか	12 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
㊵ ヒヤリハット事例集を作成して、職員間で共有しているか	10 (83%)	1 (8%)	1 (8%)	・現在作成中と聞いている。 ・作成の声は出たが、実践はしていない。 ・今後事例集の作成をする。	・積極的な事例作成に取り組む。	

【まとめ】

・項目の内容をより明確に変更したことで、昨年よりも沢山の意見を職員からもらうことができた。指摘された点を真摯に受け止め、さらなる業務改善、職場の環境改善に取り組んでいきたい。